

東京・恵比寿(渋谷区)で二十二日に開かれる市民祭「えびすふれあい広

東京・恵比寿で22日市民祭 大町市観光協会が 2年目出展へ準備



22日の本番に向け、打ち合わせる大町市観光協会の成沢専務(左から2人目)と恵比寿の住民たち

場」に、大町市観光協会が今年も出展する。毎年夏、北アルプス山ろくで繰り広げられる自然体感イベント「アドベンチャーゲームズ」の主催者が恵比寿に住む縁で、昨年に続く参加。双方向の交流の芽を育てようと準備を進めている。

今年十五年目のふれあい広場は、恵比寿・代官山地区の住民や商店主ら七十団体余が、模擬店を

出したり、バザーやアトラクションを催したりして、数千人の人出でにぎわう。

市観光協会は、アドベンチャーゲームズのメンバーと一緒に、大町の観光や特産品を紹介する予定。「通りすがりの人へのPRと違って、子連れの家族などにも大町の良さを伝えられるいい機会」と、同協会の成沢勝人専務理事は期待する。

大町の魅力 東京で紹介 渋谷区での市民祭



渋谷区での市民祭「大町市と市観光協会は二十二日、東京・恵比寿(渋谷区)で開かれた市民祭」第十五回えびすふ

れあい広場」に出展し、昨年続き、住民らと大町周辺の自然の魅力を紹介した写真。市と協会の職員二人が、北アルプス山ろくをアウトドアスポーツで楽しむ「アドベンチャーゲームズ」の、都内在住の主催メンバーと参加。大町産のア

がで、大町でぜひ農業体験をしてみたい」と話す人もいた。「お世話になっている大町と自然体験にあこが

れる都会の人とを今後もつなきたい」と、恵比寿在住でアドベンチャーゲームズ実行委員長の矢口正武さん(58)。参加した

市観光課職員の勝野実さん(37)は「仲間として受け入れてもらい、PRするのも楽しいです」と話していた。